

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ルームストーリー		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 17日		～ R8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	R8年 2月 17日		～ R8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置について保育士・心理士、またそれらの資格を有する者を配置しております。職員の配置数については、規定を上回る十分な職員数が配置されており、充実した支援を行うことができます。またエルダー制度を活用し、後進の育成にも努めています。	月に1回以上の研修・受講の機会を設けております。また、全職員が日々の目標と反省を共有することで業務における意識を高く持ち、手厚い支援を行えるよう取り組んでいます。支援方法をより分かりやすくするために、具体的な支援の方法を別紙に記載し個人用ファイルに入れて活用しております。	今後も充実した支援を適切に提供できるよう、職員間での情報共有や周知を徹底し、研修で得た知識を活かせるよう研修内容については都度内容の振り返りを行います。そのために年間の研修計画を立て、職員の業務能力向上に努めてまいります。
2	個別支援とは別にソーシャルスキルトレーニングを取り入れております。ソーシャルスキルトレーニングを通して対人関係に必要なスキルの習得を目指しております。(ご利用日数に応じて回数が異なります。)保護者様からも高評価をいただいております。	社会でのルールや話し方、より良い対人関係を築くためのスキルを身に付けられるような活動内容の立案、実行をしております。また、利用者様個人が活躍できる場を作り、自己肯定感を高められるよう支援しております。	引き続きソーシャルスキルトレーニングの面でも個別支援計画書を作成し、利用者様一人一人に合った支援を行ってまいります。また取り組む前に全職員で内容の確認、シミュレーションを行い、全職員が同様の支援を行えるよう準備を整えております。
3	定期的に全職員でモニタリングを行い、児童に合わせ支援計画を見直しております。S-M発達スケールを用いて個人の課題を見つけ支援計画に取り入れています。	モニタリングや日々の支援記録をもとに一人一人のニーズや課題を分析したうえで、利用者様の最善の利益を考慮しております。保護者様からいただいたご要望はその都度取り入れ、サービス担当者会議を開き全職員で周知するようにしております。また、研修等で学んだ力を支援に活かせるよう努めております。	今後も全職員が利用者様一人一人の特性、ニーズ、保護者様からのご要望等を周知し理解を深め、適切な支援を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、放課後児童クラブや児童館、地域の子どもの交流や活動を共に行う機会は設けられておりません。	交流相手機関の活動時間と、当事業所利用者様の活動時間が異なることから交流の機会を設ける時間の確保が難しく、利用者様の日々の支援の充実を図るため現在は実施が困難な状況でございます。	当事業所での支援を十分に行ったうえで、交流相手機関との交流も行えるよう実施について今後検討していきます。
2	現在、父母の会や保護者様同士の交流や活動を共に行う機会は設けられておりません。	保護者様の交流会の開催にあたり、皆様にご参加いただける日時にご満足いただける研修内容の設定が困難な状況でございます。	保護者様のご要望に応じ、万全の状態で開催できるよう検討していきます。
3	事業所内では、自然災害や不審者対応等の非常事態に備えた研修や避難訓練を定期的に行っておりますが、利用者様や保護者様には十分に周知できておりません。	職員が行った研修や訓練の内容を保護者の皆様には十分にお伝えできておりません。	通信や会報を通して、研修や訓練の様子を保護者様にお知らせできるよう体制を整えてまいります。